# 旭日双光章を受章して





このたびの春の叙勲で「生活衛生功労」により旭日双光章を受章いたしました。5月2日に都庁にて小池百合子都知事から勲記と勲章の伝達をいただき、5月11日に皇居にて拝謁の栄誉に浴しました。

今回の受章は、私個人というよりも、私たちの仕事が社会的に高い評価を得たもので、業務に携わる社員ともども喜んでおります。これもひとえにペストコントロール業界を作り上げた先輩の方々、現在ご尽力いただいている方々の献身的なご努力の賜物と心より敬意を表します。

この機会に私の業界での取り組みについてまとめてみました。

# 東京都ペストコントロール協会への取り 組み

1984年に理事に就任、その後副会長、理事としてさまざまな活動に取り組みました。

#### (1)技術委員会

1984年、理事就任と同時に技術委員会を立ち上げることになり、当時日本環境衛生センターの田中生男先生に顧問をお引き受けいただき、委員の呼びかけを行ったところ、玉田昭男現会長、紅谷一郎氏、関虎実氏、若松寛徳氏らが参加し、毎回熱心に討議が行われ、終了後は六本木へ繰り出しました。その結果、情報誌として「技術ファイル」の定期発行と調査研究を行うことになりました。

技術ファイルは48号まで発行されました。 調査研究では、トラップによるゴキブリ指数 を防除現場で検討・吟味し、ゴキブリ防除基 準を発表しました(1998年)。これが後に厚生 労働省の科学研究「建築物におけるねずみ・害 虫等の対策に関する研究」として取りまとめら れ、建築物衛生法の通知「建築物環境衛生維持 管理要領」、「建築物における維持管理マニュアル」に盛り込まれ、IPM(総合的有害生物管理)導入のきっかけとなりました。殺虫剤の散布方法の研究では、ハンドスプレーヤーの性能試験(全自動噴霧器の性能に関する実験的検討)、カーペットの汚損(カーペットの変色を引き起こす殺虫剤とその対策)についてペストロジー学会に発表し、「害虫防除作業を行うにあたって」「ご協力ください」のパンフレットの発行と「スプレーの基本技術」のビデオを製作しました。

1996年に第1回技術セミナーで奥谷禎一先生の「昆虫の同定」を、2015年にはIPMの普及を図る目的で、東京PCO協会会員、東京ビルメンテナンス協会会員、東京都環境衛生職員を対象にアンケートを行い、普及実態の調査を行いペストロジー学会に報告しました。

最近では、協会ホームページに20種の害虫相談の掲載、「トコジラミ防除及び仕様書」、「PCOのためのインフォームド・コンセント」、「害虫相談員ハンドブック」の改訂の検討、

2020東京オリンピックに向けての検討、など を手掛けています。

#### (2)経営委員会

1992年に生涯教育研究所の片野鐘太郎先生 を顧問に迎え、相原庸氏、坂東一正氏、紅谷 一郎氏、八木秀蔵氏、芝生幸夫氏らで積算マ ニュアルの検討を行い、「ペストコントロール 業務・積算マニュアル」を出版しました(1995 年)。経営ファイルを18号、「ビジネスマナー」 発行、1996年に第1回管理職セミナー、以後パ ソコン研修などを行い、会員のコンピューター 導入の後押しをしました。

#### (3) 害虫相談所

1986年に害虫相談所を開設、1992年に新宿 駅北通路でムシの日イベントを行いました。中 野区役所前、新宿西口東京都インフォメーショ ン広場、新宿ステーションスクエアなどで開 催しましたが、その後はブロックごとで担当 することになり、私は2008年から港区で開催 され毎年20万人が訪れる「みなと区民まつり」 を担当し、ブースを出展しています。1989年 に737件だった害虫相談は2016年度には8000 件あまりとなりました。

#### (4) 感染症予防衛生隊

1999年に伝染病予防法が廃止され、これま で伝染病の蔓延防止を担ってきた東京都防疫 所が廃止となるのを契機に、感染症予防衛生 隊が組織されました。それにともない、「感染 症消毒作業マニュアル」を作成、感染症研修会 を毎年開催することとなりました。現在では 14区や東京都と感染症消毒の契約、25か所で 蚊のサーベイランスと感染症発生時の蚊の駆 除の協定を結び、2014年の代々木公園におけ るデング熱の69年ぶりの国内発生時には蚊の 駆除に出動しました。

#### (5)各種イベントの開催

ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会は1987年 に日比谷公会堂で、1996年に虎ノ門の国立教 育会館で事務局として協力しました。この年 にペストコントロール・フォーラムの名称を 発案しました。FAOPMA大会は、2002年に神 奈川県民ホールで、2008年に東京国際フォー ラムで開催されました。

協会の25周年行事を1994年に、創立30周年 を1999年に京王プラザホテルで、2008年に創 立40周年を東京会館で開催しました。

# 日本ペストコントロール協会での取り組み

1991年に理事就任を皮切りに、監事、常任 理事として23年にわたって主として技術を担 当しました。一過性ダニ対策に関する現場調 査(1991年)、PCOのためのダニ対策の手引き (1996年)、害虫スライド集(1996~1999年)、 ペストコントロール技術者資格制度(1級・2級・ 3級) の改正(1997年) とそれにともなうコン ピューターソフト開発、建築物におけるねず み・こん虫等防除技術基準(1997年)、ペスト コントロール優良事業所認証制度の改正(1998 年)、平成10年度研究図書等委員会報告書(1998 年)、ペストコントロール技術者通信教育テキ ストの改訂(1999年)、ペストコントロール図 説第 V 集及びCDロムの編集・出版(2001年)、 感染症予防衛生隊の設置(2001年)、感染症指導 者講習会(2001年より)、感染症対応マニュア ル出版(2001、2004年)、IPM宣言(2002年)、 PCOのための高病原性鳥インフルエンザ対策 マニュアル(2007年)、PCOのためのIPM-害 虫別・施設別IPMマニュアル(2008年)、建築 保全業務共通仕様書・積算基準(2008、2013年)、 PCOのためのウエストナイル熱媒介蚊対策マ

# 旭日双光章を受章して

ニュアル、蚊がいま危ない(2009年)、トコジラミ防除及び仕様書作成の手引き(2014年)、「PCOのためのインフォームド・コンセントの手引き」(2015年)、害虫相談員ハンドブックの改訂(2017年)などを行いました。

# 害虫防除業中央協議会での取り組み

建築物衛生法の指定団体である日本ペスト コントロール協会と全国ビルメンテナンス協 会で組織された害虫防除業中央協議会では、 防除作業従事者研修テキストの改訂(1993、 2000、2008、2013年)、防除作業従事者研修 指導者講習(2000年より)、「建築物衛生法が改 正されました | 「建築物における衛生的環境の 確保に関する法律の改正とこれからのねずみ・ 害虫管理のポイント」「新しいねずみ・害虫対 策が始まります!」「建築物衛生法の改正にと もないねずみ・害虫の調査が義務となりまし た」「法改正を受けたIPM宣言に基づくペスト コントロール業務遂行の指針」(2003年)、「IPM に基づくねずみ・害虫管理の進め方」(2008 年)を発行しました。2015年には、日本ペスト コントロール協会会員に「建築物におけるねず み・昆虫の生息状況に関するアンケート調査」 を行い、ペストロジー学会に発表するととも に、冊子を発行し、特定建築物を2000㎡に引 き下げるための取り組みを行いました。

## ねずみ駆除協議会での取り組み

ねずみ駆除協議会は1966年に組織され、成 毛彦吉氏、池田安之助先生の後を受けて1982 年から委員長、副会長を務めさせていただい ております。これまでに、カラースライド3 編(1978~1981年)、ネズミの害事例集(1974)、 ネズミの生息に関するアンケート調査(1986、 2003、2013年)、ビルの防鼠構造・工事マニュアル(1990年)、都市のネズミによる被害実態(1995年)、ねずみ駆除の手引き・一般用(1998年)、飲食店用(2001年)、日本におけるネズミ防除史をめぐって(ねずみ情報No.48)(1997年)、家ねずみ用語事典(2006年)、ホームページを開設(2007年)、等に取り組みました。

### 日本ペストロジー学会での取り組み

1985年に緒方一喜先生や田中生男先生の提唱によりペストロジー研究会が発足、当協会と神奈川協会が中心になって第1回大会を開催しました。1998年にペストロジー学会に名称変更され、翌年の第6回大会は田中生男先生が大会長となられて、品川区の「きゅりあん」で、第10回大会は三原實先生が大会長で東京都庁の都民ホールで、第20回大会は岩本龍彦大会長のもと江戸東京博物館で、第33回大会は私が大会長に指名され、武蔵野市民文化会館で開催の予定です。

## 調査研究での取り組み

厚生省健康リビングダニ部会(1986年~1988年)、厚生省ダニ問題研究会(1987~1989)、日産科学振興財団研究報告書(屋内塵中のダニ類の防除に関する研究)(1988~1990年)、厚生労働省「健康リビング実践ガイドライン―居住環境におけるダニ対策ガイドライン」(1993年)、環境省「家庭内危険因子の簡易測定法の有効性および防除のための具体策に関する研究(1994~1996年)、厚生労働科学研究「家庭環境の整備に関する研究」(1996年)、患者QOL向上のための日常生活のあり方整備の方法に関する研究(環境整備によるダニアレルゲン除去効果の検討)(1996年)、「居住環境にお

けるねずみ衛生害虫ガイドライン」(1997年)、 厚生科学研究「新興・再興感染症研究事業、節 足動物媒介性ウィルスに関する診断方法の確 立、免疫及びワクチンに関する研究 | (ウエス トナイル熱媒介蚊対策に関するガイドライン) (2003年)、厚生労働科学研究「建築物における ねずみ・害虫等の対策に関する研究(2003~ 2005年)、東京都ねずみ防除指針(2005年)に委 員として参加しました。

## おわりに

本年2月に古希を迎えましたが、幸い元気に 過ごさせていただいておりますので、微力な がらこれからも将来に向けてのお手伝いがで きればと考えております。今回の受章でペス トコントロール協会の社会に対する高い貢献 度を評価していただきましたが、今後は一般 市民にペストコントロールを普及し、市民に はなくてはならない業界として発展すること を願ってやみません。

協会及び会員各社のますますのご発展と、 会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

